

# 大規模風力発電でいわきの山が危ない

2017年4月12日 秋葉

風力発電事業は再生可能エネルギーの一環であり脱原発を進めるエネルギーの一つです。しかし、再生可能エネルギーによる風力発電事業が具体化するにあたって、各地で環境破壊や騒音や超低周波での健康被害の問題が起きています。

脱原発から自然エネルギーの方向を否定するものではありませんが、自然エネルギー何でもOKではありません。自然と共存できてこそその自然エネルギーであり、警鐘を発する必要があります。

昨年より、市内の山岳団体の協力で、いわき市長宛て要望書を2016年9月29日に提出、10月14日文書回答。12月議会で狩野議員が質問しました。

2017年2月14日付けでエコ・パワー株式会社に「(仮称)阿武隈南部風力発電環境影響評価方法書に対する意見書」を提出したところです。

## 市内の尾根に140基以上の巨大建造物が林立

いわき市内でも大規模な風力発電事業が次々と進められようとしています。すでに、滝根小白井ウインドファームでは23基が設置され稼働しています。その中いわき市川前地区に13基です。

新たに馬揚山風力発電計画が浮上してきており、配慮書の閲覧が行われています。その他にも遠野風力発電が計画されているようです。

### いわき市の風力発電

区分	番号	名称 場所	事業者名	市町村名	単機出力 kW	基数	事業の状況
既設	①	ユーラス滝根小白井ウインドファーム 万太郎山～大滝根山	ユーラスエナジーホールディングス	田村市 いわき市	2,000	23	H22、12 運転開始
計 画 中	②	三大明神風力発電 三大明神山～鶴石山	同上	いわき市	2,100	17	準備書 一部施行
	③	田人風力発電 朝日山～三株山	同上	いわき市	3,000	6	準備書 一部施行
	④	阿武隈山地南部風力発電 神楽山～十文字～屹兔屋山～二ツ箭山。屹兔屋山～いわき市と広野町・楡葉町の境界尾根	エコ・パワー	いわき市  川内村 広野町 楡葉町	3,450	50	方法書
	⑤	馬揚山風力発電 馬揚山～雨降山～塩見山	JR東日本エネルギー開発	いわき市 三和町	2,000～ 3,600	10～ 18	配慮書閲覧、意見書
	⑥	遠野風力発電 鶴石山～遠野トンネル方面	?外資系	いわき市 常磐、遠野町		30	

\*風力発電建設は環境影響評価手続で、1 配慮書の手続、2 方法書の手続、3 準備書の手続、4 評価書の手続、を経て許認可となります。

## いわき市近辺の風力発電

区分	番号	名称 場所	事業者名	市町村名	単機出力 kW	基数	事業の状況
既設	⑦	桧山高原風力発電	電源開発	田村市 川内村	2,000	14	H23、2 運転開始
	⑧	川内鬼太郎山風力発電	JR東日本エ ネルギー開発	川内村	3,400	10～ 14	方法書
計 画 中	⑨	福島黒佛木ウインドフ ーム	クリーンエナ ジーホールデ ィングス	川内村	2,500	26	手続き中
	⑩	福島檜葉ウインドファ ーム	同上	檜葉町 広野町	2,500	16	手続き中
	⑪	阿武隈風力発電	福島復興風力 発電	田村市、川 内村、大熊 町、浪江 町、葛尾村	2,000～ 3,500	90	手続き中

### 風力発電は有効な発電をしているのか

平成 27 年度の発電実績は

- 鬼ヶ城風力発電が 19151.9KW、455,042 円の発電、853,200 円のランニングコスト。
  - フラワーセンター風力発電が 4592.5KW、109,110 円の発電、1,296,000 円のランニングコスト。
  - 滝根小白井ウインドファーム 布引高原風力発電
- 発電実績は公表することにより営業上の不利益となることから、非公表。

### 地元には負担のみ メリットはない

3,450 KW 級の風力発電機は羽の直径が 137m、高さ約 178.5m の仕様のもので、マリンタワーの約 2 倍、郡山の「ビッグアイ」と同程度の高さの巨大なタワーが山の稜線、海岸に 383 基も林立する様を想像して見ればことの重大さが分かります。

建設にあたり幅約 5m の工事用道路の建設、タワーの基礎工事では地中深く掘り下げコンクリートが注入され、大規模な森林伐採を伴い、環境破壊の恐れがあります。風車が回ることでの風を切る音や低周波による健康被害も心配されます。

被災地では住民の帰還を促していますが、低周波・超低周波や騒音によって、3 km 以内の周辺住民に著しい健康被害、3 km より遠くの住民にも被害をもたらしており、帰還を阻む要件にもなります。

また、設時にも周囲の山林を広範囲に伐採して、作業林道を建設するため、自然破壊と生態系への悪影響、景観破壊も懸念されます。自然災害の濁水流出や風車の故障、事故が多いにもかかわらず安全対策もおざなりです。

地元の雇用は増えず地元へのメリットは全くありません。我慢と犠牲が強いられ、事業終了の 20 年後、残るのは廃物となった巨大な施設と自然破壊のみとなることを危惧します。

